

2025 年度

履修生募集要項

(選抜方法1 科目履修選抜)



大阪公立大学

博士課程教育リーディングプログラム

「システム発想型学際科学リーダー養成学位プログラム」

目 次

	頁
I プログラムの概要	1
1. 学位プログラムの目的	1
2. 養成したい人物像	1
3. 授業科目の履修	1
4. プログラムの特色	3
II 履修生選抜の概要	4
1. アドミッションポリシー	4
2. 選抜方法の概略	4
3. 募集人員	5
4. 出願資格	5
5. 出願書類	5
6. 出願書類受付	6
7. 選考方法	6
8. 合格発表	6
9. プログラム履修に関する各種手続および説明会	6
10. プログラム履修開始時期、履修資格	6
11. 問い合わせ先	6

I プログラムの概要

1. 本学位プログラムの目的

産業が競争力を高め、イノベーションにより持続型社会を実現するために、グローバルリーダーシップを発揮できる博士研究人材が強く求められており、中でも特定分野にとらわれることなく、社会科学的視点から見いだされるニーズをも包括できる学際的、分野横断的戦略を構築できる能力の重要性がますます高まっています。本リーディング大学院プログラムでは複数の分野を広く俯瞰する学際発想力と、分野内の階層を深く統合する階層融合力を併せ持って、新しい価値創造(イノベーション)につながる研究戦略を構築できる「システム発想型学際科学リーダー」の養成を目指します。

2. 養成したい人物像

本プログラムでは、以下に示す能力を身につけた人材の養成をめざします。

1. 専門分野をリードできる確固とした学術的基礎力
2. 特定の専門分野に留まることなく多様な学問領域を見渡せる俯瞰力
3. 学際的かつ階層融合的に研究戦略を構築するデザイン力
4. 基礎的研究を産業的イノベーションへ結びつける発想力と実行力
5. 目的達成に向けて多様な人材を組織し牽引する統率力と指導力
6. 研究開発の戦略を管理、遂行するマネジメント力
7. 自らの発想を世界に根付かせる国際発信力

3. 授業科目の履修

本学位プログラムでは、「養成したい人物像」に掲げる能力等を身につけ、産業界を牽引するグローバルリーダーを育成するため、5年一貫制の博士課程教育を行います。

選考に合格した学生は、所属専攻のリーディングプログラムコースにおいて、専攻での授業科目と本学位プログラムの教育課程の授業科目を並行して履修し、単位を修得することにより、「養成したい人物像」に掲げる能力等を順次身につけていきます。

標準履修課程表(2023年度以降 博士前期課程入学生用)

2024年11月現在

科目区分	授業科目名	単位数 ○数字は 必修	配当 年次	履修を指 定する単 位数等
リテラシー 科目	科学リテラシー	②	1-2	4単位以上
	国際環境論	2	1-2	
	課題設定型演習	2	1-2	
	イノベーション創出型研究者養成	②	1-2	
インターディ シプリナリー 科目	学際科学コミュニケーション力演習	2	1-2	2単位以上
	SiMS特別研究 (研究室ローテーション)	②	3-5	
アイディエー ション科目	戦略的システム思考力演習1	②	1-2	4単位以上
	戦略的システム思考力演習2	②	1-2	
	国際アイディエーション演習	2	3-5	
グローバル 科目	グローバルコミュニケーション演習	2	1-2	2単位以上
	グローバルリーダー演習	②	3-5	
目 科 プ シ シ ナ レ プ レ ン ト ア ン	イノベーション創出型研究者養成1 (TEC1 [ビジネス企画特別演習])	2	3-5	(※) 印の 8科目の内 から2科目 (2単位) を含む4単 位以上
	イノベーション創出型研究者養成2A (TEC2A [MOT事例演習]) (※)	1	3-5	
	イノベーション創出型研究者養成2B (TEC2B [MOTコンサル演習]) (※)	1	3-5	
	イノベーション創出型研究者養成2C (TEC2C [知財戦略演習]) (※)	1	3-5	
	イノベーション創出型研究者養成2D (TEC2D [アイディエーション演習]) (※)	1	3-5	
	イノベーション創出型研究者養成2E (TEC2E [マネジメント&マーケティング演習]) (※)	1	3-5	
	イノベーション創出型研究者養成2F (TEC2F [ベンチャービジネス&アントレプレナーシップ基礎]) (※)	1	3-5	
	イノベーション創出型研究者養成2G (TEC2G [ベンチャービジネス演習]) (※)	1	3-5	
	イノベーション創出型研究者養成2H (TEC2H [リーダーシップ演習]) (※)	1	3-5	
	イノベーション創出型研究者養成3 (TEC3 [企業研究特別演習])	2	3-5	
	イノベーション創出型研究者養成4 (TEC4 [研究リーダー養成特別演習])	2	3-5	
修了要件単位数合計				16単位以 上(必修12 単位を含む)

4. プログラムの特色

(1) 優れたサポートシステム

1) 企業幹部経験者による個別メンター制度

企業幹部経験者による個別メンタリング制度により、プログラム履修、自主研究計画策定、研究室ローテーション、海外留学等の包括的サポートを受けることができます。

2) 企業インターンシップならびにキャリアパス支援の制度

多くの博士研究者を産業界に送り出した実績のある高度人材育成推進センターから企業インターンシップ先の選定や個別のキャリアパス設計などに関する支援を受けることができます。

3) 自主研究費、教育活動費の支援制度

独創的な教育研究活動を行うため、自らマネジメント可能な研究費(異分野の研究課題への取り組み、海外の大学等で行われる授業、国際会議への出席などの教育研究活動に必要な経費)について、予算の範囲内で支援されます。

4) 海外研究留学サポート

産業界をグローバルに牽引する高度研究者に求められる様々な素養とそれを実践応用する能力の体得を目的に、3ヶ月間の海外留学の機会が与えられます。

(2) 学際的発想を身につけるための5年一貫制のカリキュラム

- 学際的発想力を獲得するための専用カリキュラムと研究室ローテーションによって醸成される俯瞰力と学際的・階層融合的研究力
- アイディエーション科目とグローバル科目によって養成されるシステム発想型課題設定力、デザイン力、牽引力、マネジメント力、国際発信力
- アントレプレナーシップ科目によって融合的に醸成されるシステム発想型課題設定力、マネジメント力、ならびにビジネス展開力
- 異分野融合自主共同研究や産業界出身メンターの指導で醸成される研究マネジメント力、実行力、ビジネスセンス、キャリアデザイン力

(3) 博士後期課程学生向け経済的支援プログラムへの推薦制度

本プログラムの履修生は、博士前期課程2年(博士課程教育リーディングプログラム学修年次 2年)で「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に応募する際に、本プログラムより推薦を受けることができます。

II 履修生選抜の概要

1. アドミッションポリシー

20世紀の高度経済成長期の産業の発展は、それぞれの科学分野における発見を基礎として、各分野での高度な階層化と深化によって成し遂げられてきました。しかし近年、このような個々の分野における技術枠組みでは対応できない、新しい価値創造を中心とした産業構造へのシフトが地球規模で顕在化しており、これに対応した国際競争力のある新たな産業を構築することが強く求められています。この要求に対応するためには、単に技術的階層融合にとどまらず、シーズの視点を超えて、産業的、事業的視点に立った発想から戦略的な階層融合的研究を推進できる高度研究型博士人材の養成が急務です。

以上の課題に鑑み、本リーディングプログラムは新しい価値創造の発想から階層融合的な研究戦略を想起できる「システム発想型学際科学リーダー」を養成するために、次のような事柄に対して高い目的意識を有する学生を求めています。

- ・ 自身の専攻研究において高い専門知識と優れた研究能力を習得する意欲を有する。
- ・ 高度な学術的研究成果を産業の開拓に結び付ける企業マインドを志向する。
- ・ グローバルな環境下で学際研究に積極的に取り組む意欲がある。
- ・ リーダーシップを発揮し自らの研究を推進する意欲がある。
- ・ 学際科学リーダーとして必要な素養を得るために自らの力でコースワークと研究計画をデザインする気概と意欲を有している。

詳細は、本プログラムホームページ (<https://www.omu.ac.jp/las/sims/>) をご参照ください。

2. 選抜方法の概略

リーディング大学院プログラム履修生は、次の二つの方法で選抜します。

選抜方法1 科目履修選抜（本要項に記載の選抜方法）

博士前期課程入学初年度に、戦略的システム思考力演習2(大学院共通教育科目、後期開講)への取り組み状況を評価し、選抜します。

選抜方法2 試験(小論文、面接等)選抜

志望理由書、小論文、面接、口頭試問を課します。(選抜方法等の詳細は、別冊子「2025年度履修生募集要項(選抜方法2 試験による選抜)」を参照してください。)

3. 募集人員

学位プログラム名	募集人員
博士課程教育リーディングプログラム 「システム発想型学際科学リーダー養成学位プログラム」	10名程度

4. 出願資格

博士前期課程1年次に在籍し、願書提出年度内に戦略的システム思考力演習2の単位取得見込みであって、本選考に合格した場合、本プログラムの履修を確約できる者。

ただし、2024年度に本プログラムを実施している研究科以外の学生は、事前に相談してください。2024年度実施研究科は下記の通りです。

- ・現代システム科学研究科
- ・情報学研究科
- ・理学研究科
- ・工学研究科
- ・農学研究科
- ・生活科学研究科
- ・リハビリテーション学研究科

5. 出願書類

出願書類等	作成方法等
履修志願書(日本語版もしくは英語版のいずれか一方)	6. 出願書類受付 に記載のサイトより必要事項を入力して出願のこと。

【注意事項】

(1) 履修志願書は、日本語もしくは英語のいずれかで記入してください。

記入項目ならびに提出ファイルは以下の通りです。

1. 学籍番号
2. お名前(漢字、カタカナ、ローマ字)
3. 所属キャンパス
4. 研究科・専攻
5. 研究指導教員名
6. 写真の電子ファイル(上半身無帽 正面向きで3か月以内に撮影したもの(JPEG、PNG等の画像データ、4cm×3cm))
7. プログラムへの応募理由書(300字程度、MS WordもしくはPDF)

(2) 入力内容に不備のあるものは受理できないことがあります。

(3) 出願手続後は内容の変更は認めません。

(4) 記載事項が事実と相違している事が明らかとなった場合には、本プログラムの履修許可を取り消す場合があります。

(5) 出願にともなう個人情報、選考目的以外には使用しませんが、履修生の成績等は、本プログラムにおける学修指導に利用する場合があります。

(6) 選考に係る検定料は無料です。

6. 出願書類受付

- (1) 出願期間 2024年12月2日(月)～8日(日) 17時
(2) 出願サイト URL: <https://forms.office.com/r/mNSJej0R3K>

7. 選考方法

戦略的システム思考力演習2の履修成績による。

8. 合格発表

- (1) 発表日時 2024年12月16日(月) 13時～15時
(2) 発表場所 合格者受験番号の一覧を本プログラムホームページ
(<https://www.omu.ac.jp/las/sims/>)に掲載します。
※ 電話等による合格・不合格の照会には一切応じません。

9. プログラム履修に関する各種手続および説明会

- (1) 日 時 2025年2月6日(木) 15時(※およそ1時間程度)
(2) 集合場所 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス A6棟 3階 329室
高度人材育成推進センター 大会議室
(3) 内 容 採用手続、およびカリキュラム等に関する説明
・ 合格通知書の交付
・ 宣誓書等の記入、提出
・ オリエンテーション 案内
・ 履修の手引き及び時間割等の配付、ならびに履修に関する説明、他

10. プログラム履修開始時期、履修資格

- (1) 履修開始時期 2025年4月1日(火)
(2) 履修資格 本選考に合格した者であって、かつ2025年4月1日時点で大阪公立大学大学院に在学する者。

11. 問い合わせ先

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス A6棟 3階 312室
国際基幹教育機構 高度人材育成推進センター
TEL: 072-254-7567 (ダイヤルイン)
FAX: 072-254-8274
E-mail: gr-idec-sims@omu.ac.jp
URL: <https://www.omu.ac.jp/las/sims>